

1 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 香川県では、令和7年4月1日時点で7,175名が消防団員として活躍している。
- しかし近年、少子高齢化などにより、地域防災の一翼を担う消防団においても団員の減少が進行している。そこで、年齢や性別の枠を超えて、若年層や女性団員の増加を促進する必要があると考えた。
- これまで若者や女性からは、消防団への入団に対し「消防団の活動内容が分からず、不安がある。」「行事や訓練、過度な飲み会により、週末に拘束されてしまう。」というマイナスなイメージが聞かれていたため、こうした印象を払しょくし、積極的な参加を促す取組が求められた。

2 取組の内容

- 香川県では、女性団員の定着を目的に、2年に1度、女性団員を対象とした研修を県消防協会とともに実施している。研修は県内の各分団から参加者を募り、対面の形式で実施している。過去の研修では、災害時のメンタルヘルスケア講習やチェンソーやドローンの実技訓練を行い、女性団員同士の交流を深める機会になっている。
- また、定着促進の一環として、団員の負担軽減のため令和5年度より操法大会を隔年開催に改めるとともに、同大会を実施しない令和6年度に消防団員実技研修を実施した。消防団員としての必要な知識・技能を習得するため、消防本部職員の指導のもと、実際の火災現場で活用できる放水技術を学べる機会とした。
- 令和6年度には、消防団に対する地域住民の理解を深め、消防団への加入意欲を高めることを目指し、「分団プロフィール」を作成した。分団単位の活動内容やアピールポイントを団員自身の言葉により周知することで、特に若年層や女性が抱いている消防団へのマイナスイメージを払しょくすることを目的としている。
- 作成した分団プロフィールは、地域イベント等での配布やHPへ掲載するなど、広く発信している。
- さらに、毎年県消防協会と共催する「かがわ防災フェスタ」では、県内消防団にも協力を依頼している。令和7年度には、ブース展示やはしご乗り演舞に加え、女性消防団が防災啓発劇を披露した。親子が多く訪れるイベントであり、消防団の活動内容や魅力を発信する機会となっている。
- これらの取組をはじめ、女性や若年層の入団促進に向けて、事業を推進していくこととしている。



小豆島町消防団 西村分団

20代～50代の幅広い年齢層、職種の枠で構成されており、各自のスキルや特色を尊重して活動しています。有事の際は真剣に、それ以外では上下関係の無い親しい仲間としての役割履行に努めています。

| | | |
|--|--|---|
| 活動地域 小豆島町西村地区 〒767-0001 小豆島町西村1-7 | 訓練・活動内容 町内で発生した災害や事故に対応し、消防活動や防災活動を行います。また、地域の防災訓練やイベントにも参加し、防災意識の向上を図ります。 | 地域の人へのメッセージ 地元の人々と協力し、地域の安全と安心を守るために活動しています。また、地域の防災意識の向上を図ります。 |
|--|--|---|

| | |
|---|--|
| 分団データ 総員数 31名 専ら活動メンバー数 0名 小豆島町メンバー数 0名 | お問い合わせ 0879-82-0119 (消防団本部) 〒767-0001 小豆島町西村1-7 消防団本部 西村分団 消防団本部 西村分団 |
|---|--|

丸亀市消防団 女性消防団

私たちは、現在28名で活動しています。職種も年齢層も幅広く、住んでいるところも広範囲に広がっています。子育て中の皆さんもおり、お互いに助け合いながら活動しています。毎年の長寿や健康分野での活動、大変な物でも笑いながら頑張っている仲間たちとやる11月を誇りに活動しています。

| | | |
|--|--|---|
| 活動地域 丸亀市西条地区 〒767-0001 丸亀市西条1-1 | 訓練・活動内容 丸亀市消防団西条地区女性消防団として、地域の安全と安心を守るために活動しています。また、地域の防災意識の向上を図ります。 | 地域の人へのメッセージ 地元の人々と協力し、地域の安全と安心を守るために活動しています。また、地域の防災意識の向上を図ります。 |
|--|--|---|

| | |
|---|--|
| 分団データ 総員数 28名 専ら活動メンバー数 0名 小豆島町メンバー数 0名 | お問い合わせ 0877-25-0003 (丸亀市消防団本部) 〒767-0001 丸亀市西条1-1 丸亀市消防団本部 西条地区女性消防団 丸亀市消防団本部 西条地区女性消防団 |
|---|--|

3 取組と地域計画の関係

【地域計画における記載】

- 令和3年度改定の香川県国土強靱化地域計画では、リスクシナリオとして「2-3.警察、消防等の被災等による救助・救急活動の絶対的不足」「7-1.地震に伴う市街地での大規模火災の発生による多数の死傷者の発生」等を設定しており、当該リスクシナリオに対し「大規模災害時には公助の手が回らないことも想定し、消防団等の充実強化を促進する」等の脆弱性評価結果を記載している。
- 上記の評価を踏まえた推進方針として「女性の入団促進を含めた団員の確保対策などにより、消防団の活性化を図る」ことを打ち出している。

4 今後の展開予定

- 女性や若年層など幅広い層が消防団に入団しやすく、入団後も活動を続けやすい環境となるように、引き続き広報や研修を行い、更なる消防団の活性化を目指す。
- 消防団の活動の認知向上により、地域全体で消防団員を応援する雰囲気の醸成を図る。

参考 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 女性消防団員研修は、講師の具体的な体験談を聞くことができ、貴重な勉強の場となった。（消防団員）
- 分団プロフィールの掲示を見た住民の方に応援の声をかけていただき、やる気につながった。（消防団員）
- 分団プロフィールは、県内の分団が一同に掲載されており、他市町の消防団活動の情報収集に利用するなど、参考にしている。（市町職員）



香川県国土強靱化地域計画の特徴

- 「香川県国土強靱化地域計画」には、地域特性を踏まえた計画の特徴として「四国の防災拠点としての機能の確保」「全国一高密度に分布する、ため池の防災・減災対策」「島しょ部等における大規模災害対策」が記載されている。これらの特徴は、基本目標やリスクシナリオへも反映されている。
- また、「香川県国土強靱化地域計画」では、香川県が直面するリスクを踏まえ、13の重点化すべきプログラムを選定し、プログラムごとの推進方針を整理している。そこでは、推進方針ごとに対応する個別施策分野と横断的分野を明記して、推進方針の網羅性を示している。
- さらに、進捗管理のための重要業績指標の中で最も重視すべき指標「重点化KPI」を13のプログラムに応じて設定している。この「重点化KPI」に対して、進捗状況調査及び評価を行い、「香川県国土強靱化地域計画」に係る進捗状況調査結果として公表している。

<該当箇所>

香川県国土強靱化地域計画（改定版） P37、P.69～99

「香川県国土強靱化地域計画」に係る進捗状況調査結果